

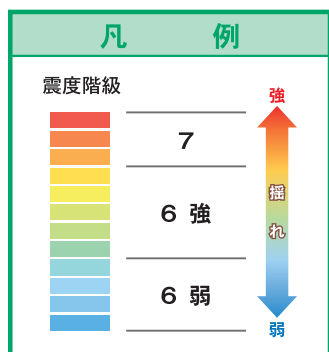
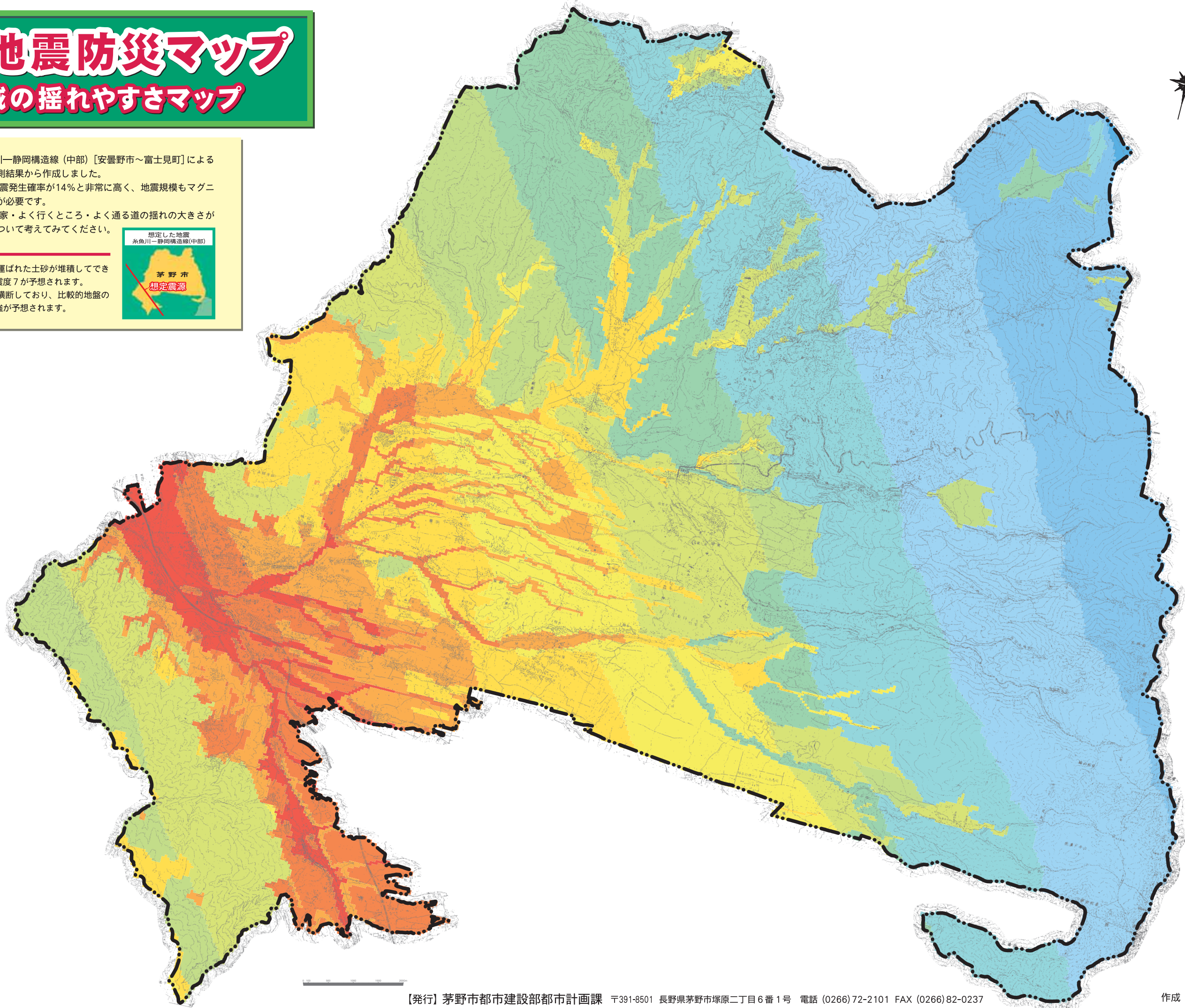
茅野市地震防災マップ

茅野市域の揺れやすさマップ

この「揺れやすさマップ」は、糸魚川―静岡構造線（中部）[安曇野市～富士見町]による地震が起きた場合を想定した震度予測結果から作成しました。
糸魚川―静岡構造線は今後30年の地震発生確率が14%と非常に高く、地震規模もマグニチュード8が想定されており、警戒が必要です。
このマップをご覧になって、自分の家・よく行くところ・よく通る道の揺れの大きさがどれくらいなのかを確認し、安全性について考えてみてください。

茅野市の揺れやすさ

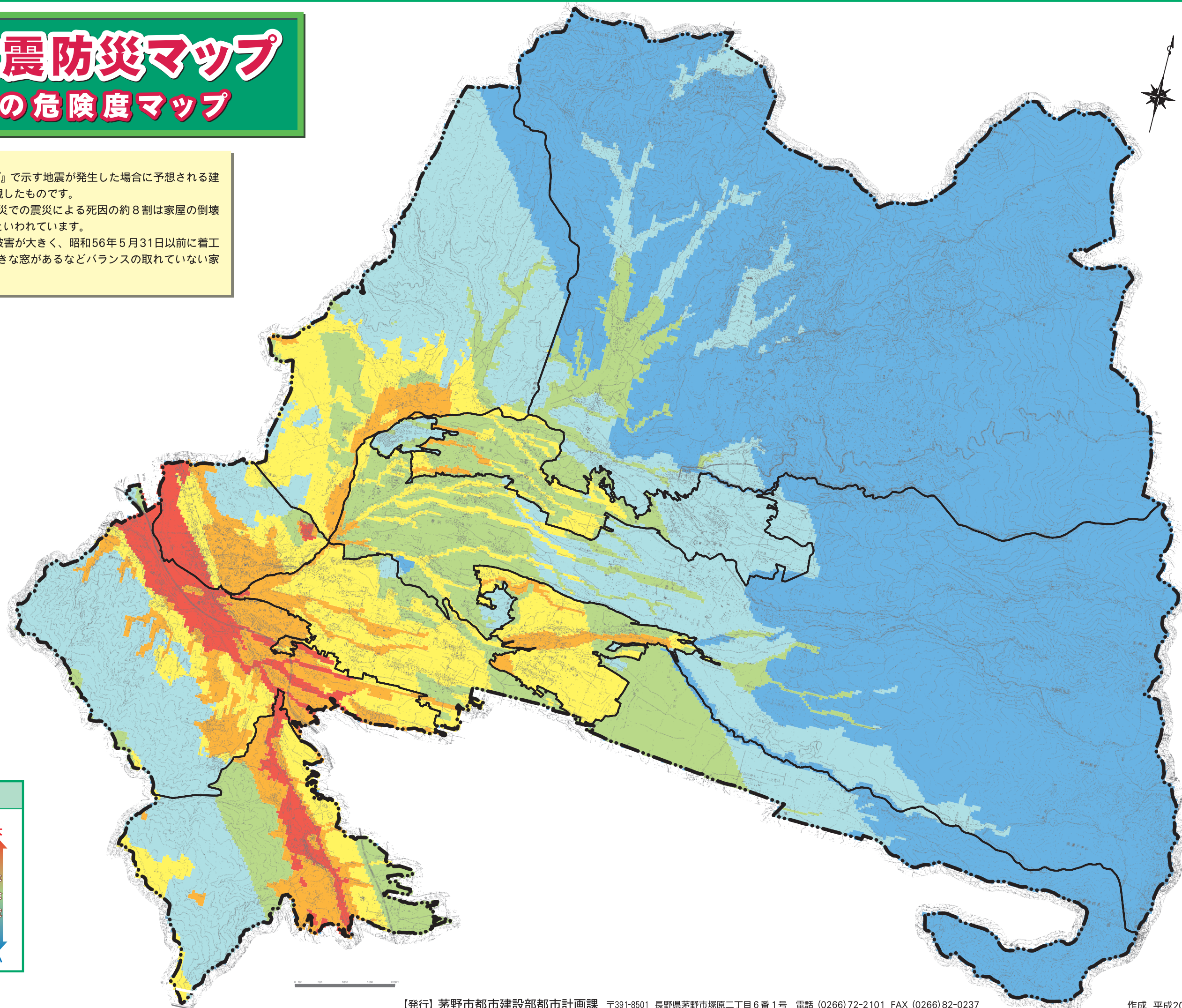
茅野市では、西部の河川の氾濫などで運ばれた土砂が堆積してきた平野や谷沿いで揺れやすく、最大で震度7が予想されます。また、糸魚川―静岡構造線は市西部を横断しており、比較的地盤の良い山地部でも断層の付近では震度6強が予想されます。



茅野市地震防災マップ

茅野市域の危険度マップ

この危険度マップは、『揺れやすさマップ』で示す地震が発生した場合に予想される建物全壊率を指標にして、地域の危険度を現したものです。
平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災での震災による死因の約8割は家屋の倒壊や家具の転倒による「圧迫死」であったといわれています。
住宅の倒壊率は建築年代の古い住宅ほど被害が大きく、昭和56年5月31日以前に着工された家や、住宅の構造・形・偏って大きな窓があるなどバランスの取れていない家では耐震性が低くなっています。



凡 例	
建物全壊率	危険度
50%以上	大
40%以上 50%未満	↑
30%以上 40%未満	↑
20%以上 30%未満	↑
10%以上 20%未満	↑
10%未満	小